



逆瀬川 あゆみだより

NO.216 2025.6
社会福祉法人
聖隷福祉事業団
逆瀬川あゆみ保育園
宝塚市逆瀬川 2-2-8
TEL0797-77-0415

さわやかな過ごしやすい季節から、梅雨の時期に入りましたね。

雨も降らないと生活に影響を及ぼすので困りますが、子ども達の園での活動を考えると、ほどほどに・・・と思ってしまう私です。

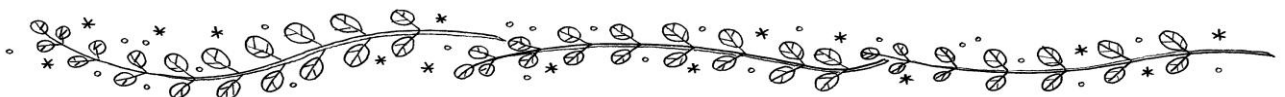
毎年5月に、園庭に各クラスが希望した野菜を植え、子ども達と共に育てていますが、今年度は、土を混ぜ、プランターに入れる準備のところから、子ども達が園庭で活動している時間におこなってみました。興味のある子は、職員がしていることを手伝いたいと伝えてきたり、「これ何にするの?」と聞いてきたりとその子なりの興味を示してくれていました。すべて、大人が整えてから始めるのではなく、子どもの目の前で一緒に準備し進めていくことが、広い意味での食育の一步に繋がるのではないかという思いをもって進めました。これから水やりなどのお世話を通して、生長を楽しみにする姿や収穫した野菜のクッキングなど「自分が関わった」という実感から、食べることへの意欲や、苦手な食材へ挑戦する気持ちに繋がったらよいなと思っています。今年度、食への取り組みを通して、子ども達がどんな表情を見せてくれるのか、私達も楽しみです!

また、子ども達にとって、遊びは最も自然な学びの手段です。遊びの中で感覚を養い、楽しみながら試行錯誤を繰り返す経験は、知識を得るためだけでなく、感情や関心の育成にも繋がります。例えば、ままごと遊びの中で、「人参切ったよ!」「お弁当作ったよ!」と楽しそうに遊ぶ姿をよく見かけます。こうした活動の中でも、「人参ってどんな味かな?」や「おにぎりの中身は何が好き?」などと声をかけることで、遊びから食への関心を広げることができ、食への親しみが自然と深まることもあるのではないのでしょうか。そうしたやりとりも、大切にしたいですね。

以前受けた研修で、ままごとができない子どもが増えていると聞いた記憶があります。お家で料理をしている姿をみる機会がなく、レンジでチン・・・や宅配、外食などの場面が多いと料理をしてご飯ができるという過程を目にする経験が少ないがゆえのことなのでしょう。そういえば、数年前、学童保育に関わっていた頃、おうちごはんが難しい環境の小学生と出会ったことがありました。ご家庭によっては、いろいろな事情を抱えていますので、「私達には何ができるのだろう」と考えたことがありました。その時の職員とアイデアを出し合い、「子どもの生活力が上がるよう、楽しみながら経験する活動をたくさん取り入れよう」と、小学生の子ども達と、お弁当作りをしたり、手作りぎょうざを一緒に作ったり、お部屋をほうきで掃除してみたりなどを積極的に行いました。少々形が悪くても、うまくできなかったとしても、その時一緒に料理した、一緒に目を合わせ、「美味しいやん」と感じた経験は、きっとその後も、その子の力なるだろう・・・と信じています。

仕事と子育て、家事と忙しい毎日です。毎日、きちんとやらねばならぬ・・・と思っていると息も詰まります。時には上手に手も抜いて、時には、腕をふるって・・・バランスをとっていきましょう!!

辻田 紀子



礼拝について

ひつじ組は、4月より宝塚栄光教会の牧師、岩間先生や千恵子先生に来て頂いて礼拝を守り、聖書のお話を聞いています。(教会からいらっしゃらないときには、園長、主任がお話をします。)

聖書のお話を通して、神様に守られているという安心感を感じとり、感謝できる時間になればと思っています。



6月の予定

礼拝 2日・9日(花の日礼拝)

16日・23日・30日

10日 花の日の訪問

12日 内科検診(全園児)

27日 歯科健診(うさぎ・ひつじぐみ)

お願い

〇シャワーが始まります。

気温が高くなり、汗をかくお子さんが増えてきました。

シャワーをして、汗を流し、気持ちよく食事、午睡をしていきたいと思います。

各クラスよりシャワーが始まる際の持ち物など配信がありますので、各自ご確認ください、ご準備をお願いいたします。

〇6月9日は花の日です。この季節は一年中で最も多く花が咲くことから、教会にみんなが花を持ち寄って神さまの恵みに感謝する礼拝をささげます。園でも子どもたちと花の日の礼拝を守ります。お花の持ち寄りにご協力ください。



お誕生日おめでとう



5名のおともだち
すくすくと大きくなってね♪



心の清い人

「心の清い人々は、幸いである。その人たちは神を見る。」(マタイ5:8)

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

イエス・キリストが山の上で弟子たちに語られた言葉の一節です。神は霊なるお方ですから、形に表すことはできません。目には見えませんし、手でも触れられません。けれどもキリストは、「その人たちは神を見る」と言われました。どういうことでしょうか。霊なる神は、肉の眼では見ることはできません。しかし、霊の目で見ることができます。心霊体験などというものではなく、心の深いところで神を知ることができるということです。

では、どういう人が心で神を知ることができるのでしょうか。キリストは「心の清い人々は」と言われました。心が清い人とは、品行方正な人、清廉潔白な人というよりも、キリストを信じて罪が赦された人のことです。罪を持ったままでは、神が分かりません。キリストの十字架によって罪が赦されたら、神がどれほど恵み深いお方か、真実に富んでおられるお方がわかります。私たちも、キリストによって心を清くされ、いつも神の愛と真実を体験しながら歩む者になりたいですね。